

授業科目	行政法演習
演習題目	行政法の判例・理論の研究
担当教員	田中 孝男
授業の目的	この演習では、行政法の重要な判例と理論に関する研究をします。
履修条件	3・4年生のどちらもこのゼミを選択できます。憲法Ⅰ・Ⅱ、民法Ⅰ・Ⅱ、行政法Ⅰについては、単位取得を要件にはしませんが、きちんと勉強しておいてください。行政法Ⅱについても、3年生は前期に履修されていることをお願いします。
教科書・参考書	各人が行政法Ⅰ・Ⅱの科目で使用した（使用する）教科書・判例集を手元に用意します。そのほか、判例評釈等、文献のコピーをすることになります。
授業の計画・内容	<p>（授業の主要内容）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・このゼミでは、前期末に「判例評釈」のレポートの作成・提出を、後期末に「論文」の作成・提出を必須とします。 ・前期は、行政法の重要・最新判例を検討します。 ・後期は、最新の重要論文・判例等を検討するとともに、各参加者の予定する論文構想について発表してもらい、論議・検討します。 <p>（その他）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員は2026年で63歳と老いています。 ・2025年度の本ゼミ在籍者は、4年生2名でした。このゼミには新4年生も参加できます。それでも、2026年度ゼミの在籍者も少ないのではないかと思います。 ・このため、ゼミ生が少ないときは、適宜内容を見直します。
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・提出された判例評釈（20点）、提出された論文（40点）の内容。 ・授業時の質疑応答の質（前期20点、後期40点。無断欠席は1回につき5点減点します。また、出席したことのみでは加点されません）。